

## 主催者様の声

### 第 18 回 世界肺癌学会

2017年10月15日(日)～18(水)までパシフィコ横浜にて開催された「第18回 世界肺癌学会」(参加者総数 6,764名/ 参加国数 82ヶ国)を終えて、世界的コア PCO (会議運営会社) International Conference Services (ICS) の社長であり、国際 PCO 協会(IAPCO)の会長でもある Mr. Mathias Posch よりコメントをいただきました。

私達は、パシフィコ横浜で約 7,000 人が出席した 2017 年世界肺癌学会を開催し、素晴らしい都市と会議場を直に経験することができました。この経験を通して、横浜は、成田及び羽田空港からのアクセスが大変良く、世界各国を代表する参加者が来日する際とても便利で、また、多種多様な魅力的なアトラクションが近隣にあり、学会開催地として大変相応しい都市であることが証明されました。パシフィコ横浜のスタッフの皆さんは、いつもとてもフレキシブルで私達のニーズに細心の注意を払ってくれました。パシフィコ横浜だけでなく、インターコンチネンタルホテル及び、その他の事業者さん含むチーム横浜全体が提供してくれた素晴らしいサービスは、横浜での私達の学会を本当に印象に残る体験にしてくれました。日本人の「おもてなし」の精神は他にはない唯一のものであり、私たちが行った学会開催後のアンケートでは、多くの出席者が、日本は、特に今回の学会が開催された横浜は、国際会議の開催地として最適であるという結果を出しています。

